

増えてきている潰瘍性大腸炎

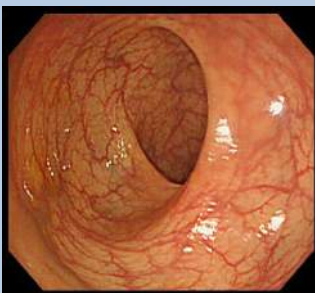
消化器内科副部長 諸橋 大樹 もろはし たいき

下痢や血便を起こす疾患には、感染性腸炎、大腸癌、大腸ポリープ、大腸憩室、痔、過敏性腸症候群など多くありますが、最近増えている疾患に潰瘍性大腸炎があります。

潰瘍性大腸炎は大腸に慢性的な炎症を起こし、持続する下痢や血便などを主症状とする疾患で、クローン病とともに炎症性腸疾患に含まれます。もともと日本人には少ない疾患でしたが、近年著明に増加しており、現在国内の患者数は10万人を超えています。**20~30歳代の若い方に発症することが多い**のですが、高齢者でも発症することがあります。病気の原因は不明ですが、腸の免疫異常が発症に関連していると考えられています。重症化した場合手術が必要となることもありますが、多くの場合内科的な治療で改善します。しかし、再発や長期の罹患で大腸癌を発症することもあるため、長期にわたる治療、経過観察が必要です。診断には血液検査、便培養検査、大腸内視鏡検査、組織検査等を行います。内科的な治療は、アミノサリチル酸製剤、ステロイド、免疫調節薬、抗体製剤、白血球除去療法などを単独、または適宜組み合わせで行っています。

担当の諸橋は、当院赴任以前、診療の傍ら北海道大学、横浜市立大学で免疫学、炎症性腸疾患の研究を行ってまいりました。当科では、潰瘍性大腸炎の迅速で正確な診断、患者さんそれぞれの病気の重症度や生活様態を考慮した的確な治療を提供することを心掛け診療を行っております。**下痢や血便などの症状がある方**は、一度大腸内視鏡検査を受けられることをお勧めします。

正常大腸粘膜



潰瘍性大腸炎の大腸内視鏡



◆受診方法のお知らせ◆

【他院で紹介状をもらった方】 医療連携室経由で諸橋の外来予約（水・金）

【紹介状がない方（当院にカルテがある方）】 諸橋の外来予約

※外来窓口にお問い合わせ下さい。

※諸橋外来以外でも他のスタッフが診察します。

外来日程表

平成22年8月1日現在

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----|---------------|----------------|---------------|----------------|----------------|
| 午前 | 井田 西郡 関 | 後藤 太原 濱中 | 諸橋 西郡 森 | 後藤 太原 高橋 | 諸橋 濱中 井田 |
| 午後 | | | | 肝癌 外来 | |

※診察日等が変更となる場合がありますので事前にお問い合わせ下さい。



日本赤十字社

大森赤十字病院

〒143-8527 東京都大田区中央 4-30-11 TEL 03-3775-3111(代)